

第28回 全国ハーブサミット早川大会
「森のハーブとひと」
～水源の森からのメッセージ～

開催日：2023年9月16日（土）～17日（日）

16日：シンポジウム・交流会（参加費 5,000 円）／ 17日：フェスティバル（マルシェ）

開催地：山梨県南巨摩郡早川町

会場：早川町民会館とその周辺

＜主催＞早川町・全国ハーブサミット早川大会実行委員会

<開催趣旨>

富士山をはじめとした名峰に囲まれ、山梨県の南西部にある早川町は、南アルプスユネスコエコパークに位置し、森林面積96%を占め、6月現在904名が暮らす日本で一番人口の少ない町であり、都市の人々の暮らしにつながる水源地でもあります。

豊かな緑に囲まれ、清らかな水の循環の源である早川の森では、樹木と下層植物が織りなす多様性のある植生が見られます。それらの植物は、生態系の中での役割とともに、林業での木材として、また私たちの健康の維持や促進のためのハーブとしてなど、暮らしを豊かにするための恵みとなってきました。

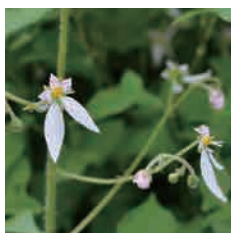
自然と繋がりを持つことは健やかであるために必要なこと・・・。

自然療法の一つであるハーブ文化の発展には、自然の恵みである植物と人々の暮らしが深く関わり、大切なことを伝承しながら、新しい知恵を創ることが大切です。

今回のハーブサミットは、ハーブを基点として、私たちが自然の一員であることを自覚し、自らの健康とともに植物や森、地球に配慮した健やかな未来を創る知恵を生む場となることをめざします。



スケジュール



9/16 (土) ※申し込み要・参加費 5,000 円

■シンポジウム 12:45～16:00

基調講演：

「樹木の精油、その力と未来」

谷田貝 光克（ふるさと精油をつなぐ会代表、東京大学名誉教授）

講演：

「ハーブの視点が生む新たな森の里の価値」

木村 正典（日本メディカルハーブ協会事務局長）

「森林の新たな活用」

有山 隆史（林野庁木材利用課 総括課長補佐）

「山だらけの早川で暮らすということ」

辻 一幸（大会長・早川町長）

パネルディスカッション：

進行：村上 志緒（実行委員）

パネラー：辻 一幸、谷田貝 光克、有山 隆史、木村 正典、大西信正（敬称略）

■交流会 16:30～18:00

両会場：早川町民会館（早川町保 509）

9/17 (日)

■フェスティバル 9:00～15:00 ※入場無料

会場：早川町民体育館（早川町保 509）とその周辺

出店数：20 店舗予定（マルシェやワークショップ）

■町内散策（午前） ※申し込み要

・赤沢宿コース

・奈良田コース



赤沢宿



奈良田温泉

お申し込み・お問い合わせは右の QR コードから、またはメールにて下記まで
大会実行委員会：（公財）オイスカ山梨県支部 ハーブサミット担当
oisca055@axel.ocn.ne.jp / TEL 055-267-5951



シンポジウム、交流会



町内ツアー